

病院における動作の反動無理な動作災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	10～11	1人で軽介助の患者のオムツ病衣交換後ベッド上で体勢を整えようと、患者を移動した際に、腰部・右股関節に痛みがあり、その後に痛みが増強し、歩行困難となった。	35～	300 499
1	10～11	手術後の患者をストレッチャーに移乗する際、腰を痛めた。	30	
1	20～21	夜勤中、介護職として勤務する2階の病室において、ベッドの中の患者の位置を上部にずらそうと、1人で抱きかかえた時、急激に腰に重さがかかり、ギックリ腰と肉ばなれとなった。	59～	100 299
1	5～6	病棟内病室にてリネン交換時に、運んでいたリネンに躓き、足を捻った。	57～	100 299
1	11～12	患者の入院受け入れ準備に従事中、同僚と共に2人で片付けられていたベッド（スチール製、幅110cm×長さ195cm）を倉庫から選び出そうとしていた際、倉庫出入り口の間口の幅が90cmしかなかった為、当該ベッドを斜めにして運び出そうとしたところ、腰部に急激に負荷がかかり負傷した。	43～	300 499
1	10～11	病室で患者を車椅子からベットへ移動しようとして、両脇を抱え立ち上がり、体の向きを変える一連の動作でタイミングがずれ自分の体で支えていた患者の頭が左脇を圧迫し、左肋骨を骨折した。	56～	100 299
1	14～15	病室にて、患者様を車イスからベットへ移乗させた時、患者様の強い拒否・抵抗があり、移乗する方向とは逆方向に引っ張られながら作業したために、急性腰痛、左股関節痛及び左肩関節痛が発生した。	50～	300 499

1	13~ 14	病室内にて、他スタッフ1名と、患者を浴室に移動させるため、ベットからストレッチャーに移乗しようと2人で持ち上げた際、腰から「ボキッ」と音がして、足に力が入らなくなりました。	26	100 ~ 299
1	16~ 17	利用者の送迎中、利用者自宅前の道で両手引き介助を行っていた時、利用者が5cm程の段差でバランスをくずし転倒しそうになったため、支えるため引っ張り上げる動作を行ったとき、両上肢と腰に負担がかかった。	38	100 ~ 299
1	9~ 10	患者が入浴後病室に戻ってきた際、ストレッチャーからベッドに移動させようと、本人はストレッチャー側、患者はベッド側に立っていた。患者が大柄の男性だった為、ストレッチャーから患者を送り出す時に体勢が崩れ、右足腓腹筋を痛めてしまった。	49	300 ~ 499
1	8~9	病院スタッフステーションにて、車椅子座位保持中の患者様（認知症）が姿勢を崩してずり落ちそうになっていたため、看護師2名で中腰になり持ち上げようとしたとき腰部に激痛がはしり、右下肢が痺れて一時立位不能となった。元々腰痛があるが、ベルトを使用しなくても良い程度のため使用していなかった。	26	500 ~ 999
2	15~16	地下浴室入口で入浴者様を運んでいたが、浴室入口が狭く少しスロープがあり、ストレッチャーの出入りが困難な為、ストレッチャーの移動の際、無理な姿勢となり、上半身をひねった。	55	100 ~ 299
2	9~10	2階に上がる時につま先で上がっていて、足を滑らせて踏み外した時に左足小指が階段に引っ掛かり骨折した。	39	50~ 99
2	8~9	公用車駐車場にて運行前に公用車の上に積もった雪を払った後、病院の正面玄関へ向かう途中、敷地内の道路（ロータリー）の凍っていたところに足を滑らせてしまった。その際、右足がスーッと滑り伸びた状態になり、左膝に体重がかかり曲がった時にバキッと音がした。（左膝は道路に打ちつけていない。）この時、同時に痛みもはしたため、病院を受診した。レントゲン撮影の結果、骨折していた。	68	300 ~ 499
		病棟の浴場更衣室で、入浴を終えた患者に靴を履かせる作業中に背中（右肩甲骨下から右脇腹にかけて）を痛めた。作業時、患者は車イスに座り、鏡のある壁に向かった状態で、患者の右側から左足（自分から奥側）の靴を履かせていた。中		300

2	14~15	腰の状態で作業をしている間、背中に違和感があり、一度背中を伸ばそうと立ち上がった際に激痛があった。翌日、学会出張のため移動したが、痛みが増したため、出張先にて受診した。	42	~ 499
2	11~12	派遣先で、患者様の体勢がベッドの下方へ崩れていたため、身体の下にバスタオルを敷いて向きを直し整える際、自分側に患者様の身体を引っ張り直すのに身体の高い患者様だったため力を入れ過ぎて肘を痛めた。	56	30~ 49
2	10~11	2階浴室に於いて、入浴のため車椅子から入浴用車椅子へ入院患者を移動する業務に従事していた。その際、中腰の体勢にて当該患者の前面より脇の下へ腕を通して持ち上げたところ腰部に鈍い痛みが生じ、腰部を負傷した。	31	100 ~ 299
2	8~9	病室で患者のオムツ交換を行い、その後患者を右側臥位にし、病衣の背中側を整えるために裾を引っ張った瞬間、腰に強い痛みが発生した。	43	—
2	11~12	病棟5号室に於いて、患者の体位を整えるため、ギャッジダウンしベッドの高さを変え、患者の左側より腰部と背部を支える様に前傾姿勢で両上肢を差し込んだ際、全介助であったため患者の体重が一気に腰部へかかり、スペースが狭く体勢を変更出来ないまま移動を行ったため受傷してしまった。	37	500 ~ 999
2	9~10	患者病室内にて患者の体位を変える際、ベッド上仰臥位であった。患者の上半身を支えた時に腰椎を捻挫した。	43	100 ~ 299
2	11~12	デイサービス室で配色配膳の補助をしている時に、左手側から歩いてくる人を避けるため腰をひねりながら作業を続け、その後も再び人を避けようとしてもう一度腰をひねった際に体のバランスを崩し転倒しそうになったところ、右手で体を支えようとして右肩関節と腰を打った。	68	500 ~ 999
2	0~1	リハビリテーション内にて患者訓練中に右下肢に過重をかけた時からの痛みである。	23	500 ~ 999
2	9~10	患者をベッド上に移動中に骨折した。	66	100 ~

				299
2	13~14	患者様の搬送を行っているその積み重ねで炎症が起こり痛みが有る様になった。一人の患者様に対してベッドから移動用ベッド、その後スケールベッドへ、その後透析室ベッドへと3回（1日）移動を行う。この行動を最高12人程（1日）行う。	43	300 ~ 499
2	10~11	当院にて介護業務を主として従事しており、患者のオムツ交換のため体位変換をした際に左手に激痛が生じたものである。	27	100 ~ 299
2	7~8	自室にて利用者様をベッドからリクライニング車椅子へ移乗していた際、自力で身体を動かすことが出来ない状態である利用者様であった為、持ち上げる動作が必要であった。非常後右肩甲骨下方にピリッと痛みが発生する。	60	300 ~ 499
3	18~19	病室にて患者様の体交時に、左側を向いている患者様を上方向に向ける際に患者様の両肩の下に自身の手を入れ、向きを変える瞬間に肩にパチンという音と痛みを同時に感じた。	62	30~ 49
3	18~19	2F病棟で夜勤時、夕食が終わった患者を部屋に送りデイルームを通りかかったとき、水中毒の患者がコップで水を飲もうとしていた。水中毒だと頭にあったため、止めようとコップを取りに走ったところ、右手と右足が同時に出てしまい変な体勢になり腰を痛めた。後日に腰痛があり、思うように動けなくなった。	46	100 ~ 299
3	8~9	水の入ったタンクを加温器本体にセットしようとした際、腰に痛みがはしり痛めた。	32	50~ 99
3	7~8	食事の準備の為、一人で全介助の男性の体勢を整えていたところ、男性が体に力を入れたため、腰に負担がかかりピキッと音がし、腰部に強い痛みを感じた。	45	100 ~ 299
3	8~9	出勤時に病院敷地内の坂を下っているとき、急いでいたため片足のバランスを崩して足を捻った。	32	300 ~ 499
		臨床検査部横のエレベーターホールにて閉まりかけたエレベーターの開閉ボタン		1000

3	17~18	を押そうと足を踏み出した際、雨傘から滴ったであろう水に左足を滑らせてしまい、転倒を踏みとどまろうとしたが、左足ふくらはぎを痛めてしまった。	41 9999	~
3	15~16	当病院内において、ベッド上で自力体勢できない患者のオムツ交換後、身体がベッドの下方にずれていたため肩と腰に手を当て上方にずらそうとした時に、腰に痛みを感じ歩行困難な状態となった。	54 299	100 ~
3	11~12	昼食時に、全く動けない患者さんの食事介助のため、起こした時に左肩に痛みがありギクッとした感じがあった。当日は痛みも少なかったが、翌朝起きた時には左肩の痛みと左手を挙げたり、回したりすることが出来ない状態となっていた。	68 299	100 ~
3	10~11	当病院1F浴室において入浴介護中、リクライニング車イスから機械浴のベッドに移す時（2人で行っていた）、患者（体重62.4kg）の腰を持って移動した際に腰部に激痛が発症した。	17 299	100 ~
3	10~11	特浴室にて入浴介助時、右下肢を軸に介助することが多く、ストレッチャーに患者移乗・移動の際、着用しているエプロンが長く、エプロンの裾を踏んで躓いた。転倒はしなかったが転倒しないように踏ん張ったため、右膝下から下部全体に痺れが生じた。	48 299	100 ~
3	9~10	体重36.8kgの患者を4F病室のベッドで上向きに寝かせているところ、体交のため横から抱えて横向きにしようとしたとき、腰がピキッと痛くなった。	44 299	100 ~
3	6~7	病院内の自然分娩室での分娩後、患者の出血が多かったため、別室の分娩室の分娩台へ患者を移動させようとした。スタッフ4人でシーツを担架にして移動させる際、座った姿勢の状態から患者を持ち上げる形で移動させるとき、腰痛が出現し、左下肢にしびれを感じるようになった。	33 999	500 ~
3	10~11	東病棟の患者を西病棟の特浴室までストレッチャーで一人で搬送中、腰を痛めた。	34 499	300 ~
3	11~12	リネン室でスチール製の丸椅子を踏み台にして、棚の上段に衣類を片付ける作業をしていた。作業終了後、丸椅子から降りる際、靴を履こうと右足を靴の上に置	63	~ 300

		いたところ、踏み外し受傷した。		499
3	11~12	当院内2階病棟浴室脱衣所にて患者入浴介助途中、機械浴入浴後シャワーチェアに座っている男性患者を更衣用ベットに移乗し、オムツ、ズボンをはかせようと介助している時に患者が抵抗した為、無理な姿勢で着用させていたところ腰に痛みと違和感を感じた。	35	100 ~ 299
3	4~5	夜勤中、病棟入院中の患者さんのオムツ交換及び体位変換を行っていた途中、左小指に痛みを覚えたが自制内であったが、次第に左小指の痛みと腫れが生じ、曲げる事もできなくなった。	54	100 ~ 299
3	17~18	ロッカーに続く階段を下りている時に一段踏み外し、右膝から崩れ落ち、歩くのもままならず、度々膝崩れを起こすようになった。	44	1000 ~ 9999
3	9~10	7階病棟病室において、ベッドの布団及びシーツを整える作業（環境整備）をしていた。ベッドの脚側付近より手を伸ばし、中腰の姿勢でシーツを持とうと前傾姿勢になったところ、右側腰部に激痛を感じた。被災後は痛み止めを服用し、湿布貼付で様子を見たが改善されず、救急搬送された。	53	300 ~ 499
4	12~13	病院内1階の上り階段部分で、透析室3階へ向かう上り途中、右足で階段を一段踏み外した。その時に右大腿部からボキッと音がして、うずくまった。	46	100 ~ 299
4	10~11	当病院にて車イスで患者移送中に、病棟廊下にて左足を捻った。	27	50~ 99
4	11~12	入院中の高齢女性患者の身体の位置がベッド足元側にずれていた為、1人介助で左手を足の所に右手で腰部を支え、枕の上へ戻そうと上方向に移動した時、左肩から左上肢に激痛がおこった。そのあと激痛が持続し、夜間眠れないほどの痛みだった。	49	300 ~ 499
4	14~15	病棟内通路にて、歩行困難な入院患者を誘導している際に無理な体勢となり、以前より痛みのあった右足に歩行困難な程の痛みが生じた。	52	50~ 99
	9~	患者病室にて、両上下肢の硬さ（屈曲拘縮）があり、更衣が困難な患者に清拭、		500

4	10	更衣を介護士と職員2名で行っていた時に、更衣の途中で激しい腰痛を感じ、体動困難となった。	53	～ 999
4	7～8	勤務先の駐車場で車から降り、駐車場から病院へ向かうところ、じゃり道から道路に出る際の段差で右足首を捻ってしまった。	22	500 ～ 999
4	9～ 10	入浴介助作業のため、患者さんを車椅子から入浴用車椅子に移動してもらう際、患者さんの身体をささえて、自分の身体を左から右に捻った時に腹部の筋肉全体に痛みがあり、その後、痛みがひどくなった。	73	300 ～ 499
4	10～ 11	病室で患者さんをベットから車椅子に移動しようと2人で抱えて移動しようとした所、負荷がかかり、バランスを崩し左足を捻った。痛みはあったが仕事を続けていたところ、痛みと腫脹が生じた。	58	500 ～ 999
4	13～ 14	患者を車イスからベッドへ介助して移乗させた時、腰痛が出現した。	65	100 ～ 299
4	7～8	病室内にあるポータブルトイレを患者さんが使用され、Pトイレからベッドへ移動するのを介助していた。その際、患者さんの足に力が入らず、Pトイレに座った状態で前方へ倒れてきた。患者さんの正面で中腰の状態では介助していた為、患者さんが上から覆い被さる形となり下敷きになった。	66	100 ～ 299
4	11～ 12	院内トランクルームにて、被災者（身長159cm）が立ったまま作業台（高さ76cm）で患者様のおむつの袋に名前を書く際に、おむつの袋を右側に落としてしまい、とっさに拾おうと上半身のみを右側にひねったときに右肩に激痛がはした。	37	100 ～ 299
4	23～ 24	院内6病棟室内にて就寝中の患者様（男性高齢、理解度は低く意思の疎通が難しい、感情の起伏は激しい）のオムツ交換を行っていた。その際に突然対象者の正面から右前腕を掴まれ、上方にねじりあげられた。離そうと手を振るが力強いため離れず、声を発し、他の職員と2名がかりで振りほどいた際、掴まれた右肩を痛めた。	51	500 ～ 999

5	16～ 17	病棟の廊下を歩いている時、ナースコールが鳴ったため急いで病室へ向かおうとし、急に走り出そうと右足を踏み出した際にふくらはぎに強い痛みがはした。	45	1000 ～ 9999
5	15～ 16	病室で転落防止のために床敷きしているマットレスに寝ている患者様を、2人1組で持ち上げて車イスに移乗させようとして、患者様の上半身を背中側から抱きかかえ車椅子に乗せようとした時、腰を捻ってしまい痛みが走った。	51	100 ～ 299
5	10～ 11	D病棟2階介助者用トイレにおいて、患者様の排泄終了後、トイレから車イスへの移動の際、患者様の前に立ちトイレから立ち上がる介助をした。介助をした際に腰に痛みが発生し、腰痛と左下肢のしびれが出現し立っていることが出来なくなってしまった。	42	300 ～ 499
5	15～ 16	患者様のオムツを交換後、車椅子に移行する際に力を入れ、腰に痛みが走り、歩くのも困難になった。	27	300 ～ 499
5	10～ 11	病棟患者様浴室で入浴介助中、車椅子の患者様移動時、よろけた患者様を保持した際に右膝を捻った。一時激痛が出現したが、そのまま入浴介助を続けたところ、痛みで通常歩行も困難となった。	61	100 ～ 299
5	14～ 15	当法人の院内（クリニック）の透析室にて、患者を車イスからベッドに移乗した際、腰部に強い痛みがあった。立っている間は痛みが少ないため業務を続けていたが、座ったときに痛みが酷くなり、腰椎骨折と判明した。	48	100 ～ 299
5	7～8	病室にて、患者様をベッドより車椅子へ移乗補助中、患者様を抱えた際に腰に痛みと違和感が出た。	60	300 ～ 499
5	9～ 10	入院中の患者様（全介助必要）に対してリハビリを実施する為に訪室した際、起き上がり介助をしたときに右手首を捻った。	34	500 ～ 999
5	10～ 11	当院病室において、患者様を車椅子からベッドへ移動させていた際、腰部の筋肉を痛めた。	41	100 ～

				299
5	11～ 12	食堂にて患者様の昼食後の口腔ケアの為、それぞれの歯ブラシを置いているラックから洗面台に並べている際に左膝を捻る。	45	100 ～ 299
5	5～6	病院3階のスタッフステーションでデスクワークをしていて、休憩をとろうと椅子から立ち上がり右足を1歩踏み出した時、右足に力が入らず右足裏が内側を向いた状態で体重がのり、そのまま座り込んだ。その後も右足に体重をかけると痛みがあった。	39	100 ～ 299
5	15～ 16	車椅子に座っている患者（認知症、体動著名）の散髪をする際に、動くのを押さえるため両手で頭を挟んでいたとき、患者が急に動いた時に自分の手指からポキッと異音が出た。関節が鳴ったのだろうと様子を見ていたが、徐々に親指の付け根が腫れて始め痛みだした。	52	100 ～ 299
5	22～ 23	入眠中から覚醒し、自室より這って廊下に出て来た患者様を他患者の妨げにならないよう病室へ移動させる際、一人で抱えた時に腰痛が発生し、徐々に痛みが増してきた。勤務後に1階通用口を出て更衣室へ向かう坂道を1歩踏み出した時に腰痛があり、坂をのぼっていると腰部に激痛がきて歩行困難となり倒れ込んでしまった。	31	100 ～ 299
5	18～ 19	入院患者の食事を配膳終了後、空になった温冷配膳車をエレベーター前まで移動するため、エレベーター前のドアのカギを開けドアを開いた状態にしてドアを通過させようと、力いっぱい引っ張った時、開いていたドアに体が触れてドアが閉まり始めたため、咄嗟に配膳車がドアにぶつからないように配膳車を止めようとした時、配膳車の引手のレバーの下に左手が入り、動いている配膳車と止めようとする左腕の間に引手レバーがあり、腕が反った状態で骨折した。	59	100 ～ 299
5	18～ 19	病室で、食後患者様を車椅子からベッドへ移動する際に腰を痛める。	34	300 ～ 499
6	16～	病室にて患者のオムツ交換中、体交まくらを背中に入れる時、右小指第1関節を曲げたまま体重をかけ、体交まくらを入れてしまった。その結果、指が曲がった	39	100 ～

	17	まま戻らない状態になってしまった。		299
6	14～ 15	当院コミュニティーセンターの東側ガレージ前にて、園芸作業療法活動中、配合土をポットに入れてバットを取りに行く途中、通路の段差に気付かず、誤って右足を捻ってしまう。その後、痛みはあったものの作業を続行していたが、バットを整頓しようとした時に再度躓いてしまい、右足を負傷した。	62	100 ～ 299
6	10～ 11	朝のケアが一段落し、オムツ車置き場で片付けをしている時、ナースコールが鳴り、対応しに行く際、振り向いて歩き出した瞬間、左足からグキッと音がし、時間が経つにつれて痛み出してきたものの、我慢出来る痛さであったため、様子を見ていた。その後、痛さが治まらず受診に至った。	45	300 ～ 499
6	10～ 11	2階病棟にて、看護師2名と一緒に車椅子の患者様の移動のために介助を行っていた。右足を車椅子にのせて患者様を抱え、移動させようとした際に、つま先立ちした状態の左足に患者様の体重がかかり、左足下腿の断裂に至った。	43	300 ～ 499
6	11～ 12	病室にて、排便によりオムツ交換が必要な患者さんに対して1人でオムツ交換を実施しようとした際に、便が軟便で多量のため患者さんの身体を手前に引き、右手でオムツを引っ張る動作を行ったところ、急に腰に痛みが発生した。	58	100 ～ 299
6	10～ 11	病院2階A病棟にて、看護師1名と一緒に、患者の体位変換のため、患者をベッドの右側に寄せようと、ベッドサイドの左側に立ち、患者の体の下に両手を入れ、向こう側へ移動させる動作をした際に、左上腕より「ピキッ」という音がして、動かすことが出来なくなった。	38	100 ～ 299
6	10～ 11	病棟にて、お風呂から帰ってきた患者さんの着替えをしている時に腰部が痛くなってきて、歩こうとしたら歩けなくなっていた。	42	300 ～ 499
6	11～ 12	病室で患者を風呂場へ移送するため、ベッドからストレッチャーへ持ち上げ移動した時、腰に負担がかかってしまった。	43	300 ～ 499
6	8～9	高さ60cm程の机の会計窓口で、中腰の状態でパソコン入力業務を行っていた時、	43	500 ～

		腰を痛めた。		999
6	10～ 11	患者退院のため移送しようと、ベットからストレッチャーに移しかえている時、体を捻った状態で、片足に体重がかかり、ボキッと音がして左膝に痛みが出た。	67	100 ～ 299
6	9～ 10	1Fリハビリテーション室にて、体格の大きい患者を車椅子から治療台へ移乗しようとした際、患者が介助者（被災者）を引っ張りながら立ち上がろうとした為、介助者の腰に過剰に負担がかかり負傷した。	31	100 ～ 299
6	9～ 10	男子開放病棟2階トイレを掃除中、モップ絞り器に水を入れようとして、腰を屈めた時に激痛がはしった。	61	100 ～ 299
6	8～9	病棟の廊下で下膳中にナースコールが鳴り、訪室しようとしたところ、廊下の床に左足が突っ掛かり、足首からブチッと音が鳴り、歩行することが出来なくなった。	47	500 ～ 999
6	8～9	病院ロッカーで更衣中、後ろを通る人がいたため避けたところ、腰に痛みが発生し動けなくなった。	43	100 ～ 299
6	15～ 16	当院病棟内浴場にて入浴介助時、患者を抱えた時に腰部に痛みを感じた。その後も痛みを耐えて勤務していたが、我慢できなくなり受診したところ、骨折が判明した。	63	300 ～ 499
6	17～ 18	当院5病棟ホール扉前で配膳車を搬送中、鍵を開けようとした時に床で足をとられ、左脚後下腿部を捻挫し痛めた。痛みが強く足が上がらなかった。左腓腹筋断裂と診断を受けた。	54	100 ～ 299
6	9～ 10	入浴介助中、浴槽より患者を1人で抱え上げようとした時、腰がグキッと痛みが出現した。	54	100 ～ 299
	11～	病棟内の風呂場脱衣所で、患者をシャワー椅子から車椅子へ移乗させる時、患者の体を前から腰を抱えて持ち上げようとしたがバランスを崩し、踏ん張った時に		100

6	12	胸から腰にかけて痛みがはした。筋肉痛と思えばらく様子を見ていたが、痛みがひかず、骨折と診断された。	52	～ 299
6	16～ 17	病室にてオムツ交換時に、腰に違和感を感じたがそのまま作業を続け、物品洗浄中に腰に激痛がはしり、同時に左足の痺れも感じた。	48	～ 299
6	11～ 12	患者様の昼食の為、ベッドから車椅子への移乗介助を一人で行った。立位保持が出来ない患者様のため抱きかかえるようにして立位保持し、車椅子へ患者様を移動させる際、介護者が腰を半転し、腰痛になった。	20	50～ 99
6	19～ 20	当院南2A病棟において、看護師2名で100kg以上ある患者の体位変換（ベッド上方への移動）を行った。その際に、腰の右側から右膝にかけて痛みがはしり、動けなくなった。	27	～ 9999
6	16～ 17	総合リハビリ室内で、患者様をリハビリ中に発生した。ベッドに座っていた患者様の正面から、両腕を脇の下に入れてお尻の下部を支えて、引き上げた際に腰に激痛が起こり、その後、脱力感が発生した。	24	～ 499
6	17～ 18	4、5日前より腰痛があった。当日は夜勤に入り、夕食準備のため患者様のベッドアップ業務の際、130kg程ある患者様の体を上げる時に腰に違和感を感じたが、そのまま業務を続けていたところ、配膳中に歩くのも我慢出来なくなる程の痛みになり、そのまま動けなくなった。	56	～ 999
7	10～11	浴室内で車椅子の患者様を椅子に移動する時、患者様の正面に立ち両脇に手を入れ立ち上がらせ、右側の椅子に移動しようと体を右に向けた瞬間、腰に痛みが走ったが、患者様を椅子に座らせた。その後、その場で痛みが酷くなり歩く事が困難になった。	47	～ 299
7	11～12	入院患者の入浴終了後、病室に戻りストレッチャーからベッドに患者を移すために持ち上げたところ、両手親指に痛みが走り負傷した。治療を受けていたが、この度、手術により休業となった。	50	～ 299
		健診センター受付で、ビル管理会社による床清掃作業準備のため、床の上の椅子や備品等を片付ける際、前屈作業が多く腰痛発生。もともと腰椎椎間板症があ		50～

7	16~17	り。当日は夕方だったのでそのまま帰宅したものの、翌朝腰が伸ばせず、それでも無理して出勤したところ、上司から休むように言われた。	39 99
7	6~7	早番勤務で出勤後厨房内で朝食用のインゲンを大釜で炒めるためにインゲンを並べたスチームコンベクション用のトレー（4枚重ね）を持ち上げたところ少し腰に痛みを感じた。その後インゲンを炒めている最中に痛みが酷くなり業務を中断して休憩室で様子を見ていたが酷い痛みが持続したため勤務を中断した。	61 100 ~ 299
7	18~19	病院内1階厨房の配膳車プールから脇の自動扉廊下において40人分の夕食を入れた配膳車（1,880×780×1,770cm製品質量313kg）を廊下に移動作業中後ろ向きで引っ張ったところ、動かなかったため、再度力を入れて、約1m進んだ時、左足膝裏に強い衝撃と痛みを感じ、左足半月板を損傷した。	61 500 ~ 999
7	14~15	当院内2FOP室にて眼科手術終了後片づけをしている際に手術台下にコントローラのコードが入り込んでしまったため、コードを取り出そうと思い手術台を持ち上げようとした際に想像以上に重く腰部からギクッと音がし、その直後痛みと共に動けなくなりました。（手術台イスの状態、かどを少しだけ持ち上げようとした。）	52 100 ~ 299
7	14~15	病室にて患者様の痰を吸引していた。気管内より痰を取るために肩枕を入れようと左側より左手を背中に差し込み体を持ち上げようと力を入れた時、右腰にビリッと痛みが走った。腰の痛みが続き毎日湿布を貼用し痛み止めを飲み仕事を続けていたが徐々に背中に張り痛みが広がり足のしびれが出現した。	61 300 ~ 499
7	11~12	病棟内で患者のトイレ介助中、腰に痛みを感じた。その後、様子をみながら業務をした。翌日、病棟内でおやつ前の体操の時、再度、腰に強い痛みと足に痺れを感じ普段の様に動けなくなった。	53 100 ~ 299
7	15~16	おむつ交換を病棟で行っている時に、患者さんを抱える際に足を踏んばったところ、左第4趾あたりがグジュという感触があった。捻挫と思って、湿布にて様子を見ていたが、痛みが増してきて、左第4趾骨折と判明した。	55 50~ 99
7	23~24	夜勤業務中に病室内にて患者さんの体位交換を行った際、急に腰に痛みを感じ、第4腰椎圧迫骨折と診断される。	68 100 ~

				299
7	17~18	看護師と2人で入院患者をベッドから車いすへ移乗させる時に患者のお尻が車いす左側の肘掛けに当たり、患者を持ち上げた時に腰に痛みを感じた。準夜時は人が少ないため我慢して仕事を続けた。そのまま帰宅し、翌日は休みだったが痛みを感じながら自宅で様子を見ていた。その翌日朝起き上がる時、腰に激痛が走りなかなか起き上がれなかった。	61	100 ~ 299
7	16~17	利用者さんを自宅まで送り、利用者さん宅前で、病院へ戻るため車に乗ろうと左足を上げ、体をひねった際に右足の半月板に痛みを感じた。	68	100 ~ 299
7	7~8	入院患者病室で、全介助状態の患者のオムツを交換する時に、中腰の姿勢で患者の体の向きを変えたところ、腰部に負荷がかかり受傷した。	47	300 ~ 499
7	13~14	病室で女性48kgをリクライニング車椅子からベッドへ移乗する作業中、2人で中腰になって抱えていて、背中から足の先まで電気が走った。私は上半身を抱え、同僚が下半身を抱えていた。	29	300 ~ 499
7	3~4	病室のトイレで患者さんのトイレ移乗の際、患者さんの病状により、腰が曲がって身体に力が入らないのを、無理な姿勢で支えようとした際に、腰に痛みを感じた。3人で移乗したいが、ご家族からの要望で、病室のトイレを指定されるため、（3名は入れないため）2名で行い、身体を支える場所の指定などがあり、起きてしまった事故。	63	300 ~ 499
7	10~11	病棟の隔離室にて、床の布団から患者さんを二人で介助し、車椅子に移乗する際、下半身を持ち上げたところ、腰に激痛がはしり、歩行するのが困難になる。今まで腰痛になった事はない。	28	100 ~ 299
7	10~11	病室にてリハビリ訓練のため患者を車イスに移乗しようとした時、腰でゴリと音がして激痛が走り、全く動けなくなった。	55	100 ~ 299
7	10~11	軽トラックから物置を降ろそうとして荷台から飛び降りた時にバランスを崩し、	41	30~

		左手を地面についた際に負傷した。		49
7	16~17	病院のSK室（汚物を処理する部屋）前でオムツを補充しようとして急いで向かったところ、SK室左横のトイレの前で右足の第5趾が下になる形でねじり、骨折した。	21	100 ~ 299
7	15~16	病棟内の浴室で、機械浴の入浴介助を2人で行っていた。左麻痺のある患者（体重51kg）を車椅子から機械浴の台に移乗している時、主介助者の力が足りず、臀部が下がり気味になった。そのため、患者の後ろから抱え上げようとしたところ、腰部に強い痛みが発生した。	43	500 ~ 999
7	9~10	病室にて入院患者様の便汚染の後の寝衣交換を2人で施行した。その後、患者様の身体を2人で上方に引き上げようと下肢に力を入れた際、ブチッとするような感覚があり、左下腿部に激痛が起きた。しばらく業務を続けたが疼痛は軽減しなかった。	44	100 ~ 299
7	10~11	入浴補助で着脱の介助時に腰を痛めた。	33	10~ 29
7	16~17	体育館にて、体育大会のバレーボールの試合中、スパイクを打つためジャンプし、着地した際に左膝を負傷した。	30	1000 ~ 9999
7	10~11	薬局において、朝始業後間もなく、各病棟に配布する薬剤を搬送カートに積み込む作業中、薬液の入った重さ約4kgの箱を持ち上げ、高さ約130cmの最上段に背伸びをして積み上げた時、背部に違和感と疼痛を感じた。その作業から約1時間後、薬局内のクリーンベンチ室において、翌日の全患者分の輸液等を搭載したワゴン（荷重約30kg）を移動し、患者毎に分別しながら別の3段棚付きワゴン（高さ上段80cm、中段50cm、下段10cm位）に積み替え作業をした。そのとき、中腰での不自然な体勢の作業のため、前の作業時に痛めた背部に異常な負荷がかかり、痛みで起立困難となり呼吸苦も感じた。	44	300 ~ 499
		介護施設での介護業務に従事中、入居女性（155~160cm、40kg程度）の入浴介助を終えて居室に運び、同僚の介護職員と共にストレッチャーからベッドにトランスファーする際に発生した。ストレッチャーをベッドの脇に並べるように配置		

7	9～10	し、同僚が足側を、被災者が頭側を担当することになり、入居女性の脇の下に手を入れて身体を持ち上げた。そのまま被災者は足を動かさずに踏ん張った状態で、ストレッチャーからベッドに向けて入居女性をスライドさせようとしたところ、腰を捻ったことにより腰痛を発症した。トランスファーを行うためのストレッチャーとベッドの配置（位置関係）、及びトランスファー自体のやり方については普段と変わらず、被災者はこれまで腰痛の症状が無かったことから、自身の身体を捻ったことによる腰への急激な負担が、原因であるものと思料される。	38	500～999
7	20～21	病棟内の患者の部屋にて、患者が床に倒れており、看護師と一緒に患者をストレッチャーに移動させるために持ち上げたところ、その重さで腰に負担がかかってしまった。その日は何もなく過ごしたが、翌日から少しずつ痛みが発生した。	46	300～499
7	7～8	病院勤務において、入院患者を車椅子に移乗介助中、患者を抱きかかえて向きを変えようとしたときにバランスを崩し、右下肢を負傷した	64	50～99
7	15～16	職場のレントゲン室にて、ストレッチャーで運ばれてきた患者を撮影台のベッドへ移乗しようと思い、患者の体が撮影台と離れていたため、身を乗り出して患者の体を持ち上げようとした際に腰に激痛が走った。	24	300～499
7	16～17	早出勤務を終え、駐輪場にて帰宅しようとバイクに乗り、発進しようとアクセルを回したとき、バイクを支えるために地面についていた右足首を捻じった。歩行困難のため同僚に送ってもらい、病院を受診したところ、骨折はなく、靭帯損傷の疑いとの診断を受けた。	28	100～299
7	12～13	病室にて患者のオムツ交換を1人で行っていた際、患者を右側臥位にしようと思ったが患者の体位が安定しなかったため、右手で患者の背中を押しながら、左手で病衣のズボンを下げようとしたときに腰に激痛がはしり、一時オムツ交換を中止した。他のスタッフに声をかけ2人でオムツ交換を行い、その後も激痛は続いたが、その後、入浴介助の当番だったので仕事を続けた。入浴日はどのスタッフも忙しく自分が痛いと言えない状態で、仕事終了時間まで勤務したが、家に帰っても激痛が続いたため翌日に受診した。	38	100～299
7	19～	2階東病棟病室にて、患者をポータブルトイレからベッドに移乗介助した際に、患者の力が抜けて倒れそうになったのを支えたため、移乗介助後に腰痛となっ	26	500～

	20	た。		999
7	15～ 16	病院の病室内にて、患者の排泄介助（おむつ交換）をしていた際に、右手親指に痛みがはしった。その後、痛みを我慢しながら就業していたが、痛みには耐えられなくなった。	37	100～ 299
7	10～ 11	院内を移動のためナースステーションへ入室する際、足首を捻り、左足甲の部分を骨折した。	41	10～ 29
7	18～ 19	病室にて、車椅子からベッドに患者（60代男性）を抱えて移乗するとき、患者が体を動かしてバランスを崩し、左足を捻った。痛みはあったが、脹脛だったので筋を痛めたのだと軽く思っていた。その後も痛みは続き、三日後に内出血も出てきたので、市販の痛み止めでのいでいたが、痛みも増し、正座も困難になった。	47	300～ 499
7	15～ 16	消防研修時、2人組でおんぶをして2階から1階へ安全に降りる訓練を行った際、自分がおんぶしてから相手を降ろそうとしたとき、左腰部に痛みがはしった。そのときは大丈夫であったが、翌朝になり、左腰から左足に痛みを感じた。	40	100～ 299
7	11～ 12	当院階段の踊り場にて、2階ナースステーションに物品（タクシーチケット等）を返しに向かっている際、方向転換したときに腰に痛みがはしり、ナースステーションに着いた頃には動けなくなってしまった。	42	30～ 49
7	11～ 12	ヘルプに向かった外来処置室での処置看護中、ベッド上から寝たきり状態の体重の重い患者を2人で車椅子に移乗させていた。寝たきり患者の離床および移乗には、理学療法（医療者）によると5名で対処すると書かれているが、2人で移乗を行なったためかなりの負担がかかり、有害な状態であった。離床途中に腰の痛みが発生したが、仕事を抜けられる状態ではなかったため、無理して業務を続けていたところ、歩行困難に陥った。	48	50～ 99
9	9～ 10	病室のベッドで患者の体位交換を二人で行っている時に、中腰でシーツを持って患者を手前に押した際に腰に負荷がかかり、鈍い音と共に痛みが出たものである。	28	300～ 499
		昼食時、食堂で部屋の食事介助が必要な患者様の食事を準備している時、3段		

9	11～ 12	キャスターへお膳を乗せて配薬する際に、キャスターの正面に立ち、右側のお膳に配薬時、2段目の為1歩右足を出して、中腰になった。その時、左腰の筋肉がずれた感覚と激痛が走った。腰への負担が掛かった為と思われる。	56	300 ～ 499
9	11～ 12	上記日時に、当病院2階観察室において入院中の患者様をベットに横たえさせるため、患者様の両足を中腰状態で両手で持ち上げている最中、力が入りすぎたためか左脚ふくらはぎに強い痛みを感じ病院にて受診したところ、左脚腓腹筋筋膜炎と診断されたものである。	39	100 ～ 299
9	14～ 15	訪問看護中利用者様宅にて、利用者様がベット下部に下がっていた為、頭部側へ移動させようと、御家族といっしょにベット頭部側から利用者様の脇を持って移動しようとしたところ、自分の右胸部に痛みが走り、それ以後、右胸痛より、整形外科受診で、右肋骨骨折と診断された。	56	100 ～ 299
9	7～8	精神療養病棟のデイルームで、患者が床に唾をはいていたため、当労働者（准看護師）が「唾を拭いてね」と患者に紙を渡したところ、一度は紙を受け取ったが、その後、当労働者を突き飛ばした。当労働者は左膝をひねり、直後に「ブチッ」という違和感とともに強い痛みを覚えた。	53	100 ～ 299
9	20～ 21	当法人に於いて、患者の身体がベット下方へずり落ちていた為、ベット横に斜め30度ぐらいに立ち、脚を開いて中腰の体勢で患者の身体を両手で抱えベット上方へ引き上げようとした際、腰部に強い痛みを感じた。以後痛みが強くなってきた。	39	50～ 99
9	14～ 15	精神科病院内の2階認知症治療病棟レク室ホールにおいて、精神科作業療法プログラム（集団回想法）を実施中、リクライニング式車椅子から転落しそうな参加患者を発見したため、駆け寄り、身を投げ出して支えた事で腰椎を受傷した。	37	100 ～ 299
9	9～ 10	患者をベットから抱き起こすとき、ベットのストッパーがかかっておらずベットが動いたので、患者を抱えていたので、股関節が開き負傷した。	64	500 ～ 999
9	13～	患者用の浴室脱衣所で、入浴後にベッド上で仰臥位になっている患者をタオルで乾かしている時に、患者の足下にあるタオルに対して、ベッドの位置が高い状態	33	300 ～

	14	があり、タオルを取り除こうと手を伸ばした時に腰から背中にかけて激痛が走った。		499
9	18～ 19	病室内の患者が食事を摂るために、ベッド頭部を起こしていたが、足元の方へ身体が下がっていたので、一度ベッドを下げ、両脇・肩甲部に左手、臀部に右手を深く差し込み固定し、頭部へ患者を抱え上げながら中腰で左方向に体を捻った際に、腰部に激的な痛みが走った。患者は臥床状態認知症あり、体重約40kgであった。	49	100 ～ 299
9	16～ 17	病棟詰め所の奥の処置室で、ソファに座って準夜帯の申し送りを聞いていた、申し送り終了後、ソファから立ち上がった際、左ひざを少し捻ってしまった、その際、腰が少し「ゴキ」という音がし、違和感を覚えた。	67	300 ～ 499
9	12～ 13	入浴更衣介助後、歩行器への移動の際に患者の足にひっかかりふらつきがあった、急に患者がふらついた為、患者の腰を両手で支えた際に、腰がぐきとなり激痛が走った。	44	300 ～ 499
10	4～5	8階病棟3号室にて患者（92歳44.2kg）をベッドから車椅子へ移乗介助の際、患者の腰辺りを抱えながら立ち上がったと同時に、背部に強い痛みを感じたためすぐに受診した。	56	500 ～ 999
10	18～ 19	病棟詰所カウンターに患者が歩いてきたので、話を聞こうと近づいたところ、患者が後方へよろめき転倒しそうになり、両腕で支えたが、突然方向を変え支えて居る左手に勢いよく押しかかってきたため負傷した。	52	300 ～ 499
10	17～ 18	病院発の送迎バスに乗車し、駅に到着した。降車の際、右足を地面に着地したところ、足関節に強い痛みでその場に2～3分立ち止まった。痛いながらもゆっくり歩けるので地下鉄で帰宅した。帰宅したところ右外果部の腫れが強く、冷湿布して休んだ。	64	300 ～ 499
10	8～9	早番で患者様に朝食介助をし、終了したため、下膳しようとしたら腰が痛み出した。	42	300 ～ 499
	10～	通所介護施設内にて、利用者の立位訓練中、利用者がバランスを崩し、それを支		100

10	11	え、立位保持しようとする場面が頻繁にあった。背腰痛があり受診し、?11胸椎 圧迫骨折の診断を受けた。	59	～ 299
10	7～8	病院の居室にて、朝食前に、患者さんをベッドの上（頭側）へ移動させる為、も う1人の助手と2人で持ち上げ移動させようとした際、左腓腹筋（ふくらはぎ）を 損傷。	44	100 ～ 299
10	19～ 20	当院リハビリ室で新しい医療器具設置に伴い、ベッドの移動をしようと二人で持 ち上げた時、予想以上に重く体に負担がかかり激痛をきたした。	37	10～ 29
10	10～ 11	デイケアセンターの施設内の脱衣場所で、完全麻痺のある大柄な利用者の介助中 に、車椅子に座っている利用者の服を脱がせるため中腰の姿勢で使用者の下肢を 持ち上げたときに、バランスを崩してしまい自身の体勢が崩れたため腰に負荷が かかり、腰を負傷した。	39	30～ 49
10	10～ 11	入浴介助中、患者さんに足湯を行おうと直径41センチ、深さ16センチの「たら い」に浴槽からお湯を汲み、患者さんの所まで運び、足元に「たらい」を下ろそ うとした際に腰に激痛が走り、痛みのため動けなくなった。	43	300 ～ 499
10	13～ 14	病棟ホールより車椅子の患者を病室ベットへ移す際、激痛があった。その後痛み も軽かったので勤務したが、翌日になり激痛により動けない状態になった。	77	300 ～ 499
10	11～ 12	病室で窓の掃除をしている際に、窓の外を拭こうとして、柵に前のめりになり身 体を起こそうとしていた時に捻った。	73	300 ～ 499
10	9～ 10	3F包括ケア病棟の患者のオムツ交換の際、ベッド左側に立ち右足を1歩前に出し て体位変換を支えた（患者の背中を押した）。急に後ろから誰かにふくらはぎを 蹴られたような痛みが左下腿にあり歩行できなくなった。外的要因はなし。	51	100 ～ 299
10	13～ 14	2病棟内にて、右側臥位で臥床している入院患者を体位転換する際2名で行った が、右肋骨部をひねった時に痛めた。当日帰宅してから痛みが増した。	74	100 ～ 299
	9～	3階から2階へ移動中手すりに手をかけた時、手すりが回りバランスを崩し右足を		100

10	10	捻挫した。	54	～ 299
10	12～ 13	広場にて開催された病院フットサル大会に参加した。試合中相手のシュートを止めようとした際に、相手のシュートの勢いに負けて、膝をひねってしまった。	26	500 ～ 999
10	11～ 12	第1診察室にて診察介助、患者が身支度を調べ診療台で端坐位をとり、靴を履こうとしたところ、後方へ倒れ転落しそうになり、咄嗟に患者の身体を支えた。その際に自分の身体の体勢が崩れ、診察台に右下腿をとられ受傷した。	52	10～ 29
10	15～ 16	病院中庭にて、レクリエーションの運動会のリレー競技に参加し、第1走者よりリレーバトンを受け取り、走る際にカーブで足をとられ、体勢を立て直そうと踏み込んだ際に、右足の甲に圧痛があり、歩行困難となり、続行不能となる。精査の結果、右足第1楔状骨骨折の診断を受ける。	37	100 ～ 299
10	9～ 10	4人部屋の病室にて男性患者様を車椅子からベットへ移乗介助中に受傷。移乗はトランスファーボードを使用して行い、その時の姿勢は中腰だった。ベットへ移乗した直後に右腰背部に重だるさとズキッとする疼痛を認めた。	31	500 ～ 999
10	10～ 11	空気清浄機がうしろにあり、業務スペースが狭かったため、1人で男性の患者様のオムツ交換を行って、枕の位置等ベッドで横になっている位置を正しくしてあげようと抱えた時に、予想以上に重くふらついてしまい、腰を痛めてしまった。	60	100 ～ 299
10	4～5	入院患者病室の患者ベッドサイドで、シーツ・布団・寝衣交換等、中腰姿勢で施行した後、点滴再挿入中に患者が嫌がる体動があったため、無理な姿勢となり腰部に負荷がかかった。	40	300 ～ 499
10	17～ 18	業務が終わり3階の所属病棟から階段にて降りて更衣室まで行こうとしたところ踏み外し、足を捻る形で骨折した。	64	100 ～ 299
10	9～	患者の処置（点滴や体位変換などを中腰で行っていた）に一人で病棟内をまわっていた際、腰から下が重く感じ、ビキッとした痛みが走った。その後、歩行困難なくらいの痛みが出現し、職場を早退した。腰の専門医が不在だったため、後日	55	50～

	10	改めてMRIなどの検査を行うことになった。湿布、痛み止め（飲み薬と貼る用の薬両方）、胃薬、筋肉を和らげる薬が処方された。ゆっくりなら歩行可能な程度のため、翌日の勤務は休むことになった（自宅療養する）。		99
10	8~9	病棟、病室において患者様の体位変換作業中、患者様をベッドの上で抱えるようにして痛めた。	26	300 ~ 499
10	9~ 10	療養病棟病室320号室で患者様をベッドから起こして、車椅子に移動する際に力を入れたとたん、胸背部に激痛があり、そのまま患者様の膝元に倒れこんでしまい動けなくなった。	56	50~ 99
11	11~ 12	冷凍庫前室にて原料を開梱中、前室入口のドアを開けた状態で作業を行っていたが、ドアが急に閉まってしまい、止めようとした際に左手人差し指を挟んでしまった。	48	100 ~ 299
11	8~9	耳鼻咽喉科外来の3番診察室内で、吸引パックを交換するために持ち上げた際、腰を一瞬捻ってしまい受傷した。	39	1000 ~ 9999
11	10~ 11	病室にて、全介助の患者の清潔ケアを行っている時、患者を持ち上げた際に腰部、左足大腿のしびれが発生した。	23	500 ~ 999
11	15~ 16	施設内のトイレにて、車椅子に乗った全身不随の利用者（体重約63kg）の両脇を抱え、便座へ移乗していた時、急に利用者の脚が屈曲し、全体重が被災者に負荷され、腰部を負傷した。当日より、市販の痛み止めや湿布で処置していたが、その後症状が悪化し、体動が出来なくなり、救急にて病院を受診した。	59	50~ 99
11	10~ 11	消化器外科急性期病棟にて勤務中、病室で臥床中の患者1名を頭側に水平移動していた最中に、腰痛を発症した。	26	100 ~ 299
11	8~9	病棟病室にて患者の処置及びオムツ交換の為、職員2名で患者を抱えた際、腰の左側に痛み、しびれを覚え同日整形外科病院を受診する。	49	100 ~

				299
11	14~ 15	病棟にて患者様を車椅子に移乗させる介助中に腰を捻じる。	39	100 ~ 299
12	14~15	患者さんの身体がずり落ちているため、身体を持ち上げる動作を手伝って欲しいと他のスタッフより頼まれ、2人で患者さんの身体の下に手を入れ持ち上げようとした時に、中腰で頭部と上肢を支えようとし、ベッドの高さが低かった為、不安定な姿勢になり、持ち上げた時に腰部に激痛が発生した。	24	100 ~ 299
12	10~11	グループホームにおいて、認知症入居者のトイレ介助中に、お尻を拭こうとして手を伸ばした際、腰に負担がかかり、激痛により、立ち上がり困難となった。	41	500 ~ 999
12	14~15	透析中に急激に血圧低下し、ショック状態となった患者にモニターを設置・装着した際、同患者が吐き気をもよおし、誤嚥防止のため患者の体の向きを変えようとした時に左足~背にかけて痛みがはしった。当日、当院救急外来を受診し、左横足根靭帯損傷と診断された。数日経過しても痛みが治まらなかった為、別の病院を受診したところ、左第3趾中足骨骨折、腰椎椎間板症との診断で1カ月の休業となった。	58	1000 ~ 9999
12	17~18	当院内においてデイケア業務終了後、片付け等の残務をおこなっていた。カウンター内の棚に利用者用の名札を整理しておくため布が掛けられている。この布の下方に名札を片付けるためにしゃがみ立ち上がる際に負傷した。	47	100 ~ 299
12	8~9	入社時、当院職員駐車場にて車から降りる際、時間がなく、車のドアを開けて慌てて足を投げ出し、立ち上がろうとしたため、膝をひねり右膝を負傷した。現場は、砂利を敷いている舗装されていない駐車場であった。	62	100 ~ 299
12	10~11	風呂場で、介護職員と2人で患者をベッドから入浴用のストレッチャーに移動させるため、腰を曲げたまま抱きかかえたり、リフト浴に患者を入れた際に患者が沈まないよう、リフトの横から腰を曲げたまま患者を支えたりしていた。その行動を繰り返し行っているうちに腰が痛み出し、腰を伸ばすと激痛がはしり、歩行困難となった。	57	300 ~ 499

12	10~11	病院のリハビリテーション室で、リハビリテーション施術中の患者を車椅子からリハビリベッドへ移乗しようとした際、腰部に痛みを感じた。その後、体勢を前に屈める際や歩行時に、腰部の痛みや左踵部の痺れを認めるようになった。	25	100 ~ 299
12	11~12	3階風呂場の外廊下で、他のスタッフが患者をストレッチャーから車椅子に乗せようとしていた。患者が立とうとしたときに上手く立てなかったので、介助しようと患者の腰を持ったところ、姿勢が悪かったのか左腰がグギッとなった。	38	300 ~ 499
12	16~17	ごみを乗せた大小2台の台車を片手ずつ前後で持って移動していたところ、段差で前の台車が傾いたのを止めようとして、右手で保持した。その後、背中と右上肢の痛みが出現し、湿布を貼ったが痛みが持続した。	64	300 ~ 499
12	2~3	院内5病棟病室にて、体位交換の実施時、前傾姿勢で患者の体位交換をしている際に、本来であれば2名で行う体位交換を1名でしていたため、思うように力が入らず左胸部を痛めた（左肋骨骨折）。	42	500 ~ 999
12	11~12	院内2病棟病室にて、被災者と他1名の2人1組でベッドのシーツ交換を実施した。ベッドとマットレスの間にシーツを挟み込むため中腰（前傾姿勢）で交換作業を行い、完了したため次のベッドのシーツ交換に移動しようと、中腰の体勢から体を起こそうとした際、右股関節に痛みがはしった。その後、全く動けなくなった。	65	500 ~ 999
12	11~12	病室にて、患者のベッドサイドでルートの差し替えを行おうと中腰になったとき、左膝に激痛がはしり、その場から動けなくなった。	37	100 ~ 299
12	11~12	HB室にて、脳外ルーチン検査に就いていた。6名で女性患者を隣のベッドへ移乗させていた際、患者の胴体部分を両手で持ち、真っ直ぐな姿勢から前のめりになりながら奥のベッドへ移乗させたとき、無理な姿勢をとったため、腰に痛みが発生した。	26	1000 ~ 9999
12	16~17	病院本館1階のラーニングセンターにおいて、心肺蘇生研修を受けていた。椅子に意識不明の人が座っており、下に降ろすという設定で実技を開始した。2人1組になり、背後より上肢を持ち、もう1人は下肢を持って持ち上げようとした瞬間	63	1000 ~

		間、腰の骨がボキッと鳴り、痛みがはしって立っていられなくなり、そのまま入院となった。		9999
12	14~15	勤務している病院の2Fから3Fへと続く階段にて、患者のリハビリ中に階段を踏み外し、足を捻って負傷した。	26	50~99
12	16~17	認知症デイケアを実施しているコミュニティルーム内で、デイケア終了後、21人分のマグカップを食器棚へ片づけようとテーブルの間を抜けながら移動していたところ、右足首を内反側に捻った。その後、足背の腫脹、熱感、内果の周囲と足背のアーチに沿って圧痛が生じ、立位および床への接地、下肢挙上、母指可動が不可となった。	36	100~299
12	16~17	血液浄化療法室にて、全介助の患者が透析治療を終了したため、電動ベッドにて腰を起し、ベッドサイドに座位をとってもらい、1人の看護師が車椅子に固定し、本人が両脇に腕を入れて患者を立たせ、車椅子へ移動をしたとき、左腰部を痛めた。	54	100~299
12	4~5	病院A棟5階東病棟の病室にて、患者のオムツ交換・吸引をしている際に腰痛があり、身動きがとれなくなり、病院受診の結果、腰椎ヘルニアとの診断を受けた。	28	500~999

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html